

三次元画像可視化システム

VOLUME EXTRACTOR

ボリューム エクストラクター

使いやすさアップ!

Version 3.2.0.8

バージョンアップ内容

○ DICOM 画像のソーティング機能

DICOM 画像を並び替える際、Image Number に加えて、スライス画像の Z 値でも並び替えが可能になりました。Image Number と Z 値の選択は、Tools->Preference ダイアログで行えます。

○ ボリュームレンダリング機能のバグ修正

一部の工業用 CT 画像に対して、ボリュームレンダリングが行えない問題を修正しました。

○ Windows 8.1 へのインストール対応

Windows8.1 でご利用可能となりました。

○ 低価格 3D プリンタへの対応

UP Mini・UP Plus (Delta Micro Factory 社)、OpenCube 社の SC00V0 (OpenCube 社)、Replicator2 (Makerbot 社) 等の 3D プリンタによる造形を確認しています。

カスタマイズサービス

日常業務等でお悩みの場合、何でもご相談ください!

- ・画像処理フィルタの作成
- ・処理の自動化
- ・パラメータ設定
- ・プログラム開発
- ・3D プリンタ用造形モデル作成
- ・研修およびコンサルテーション

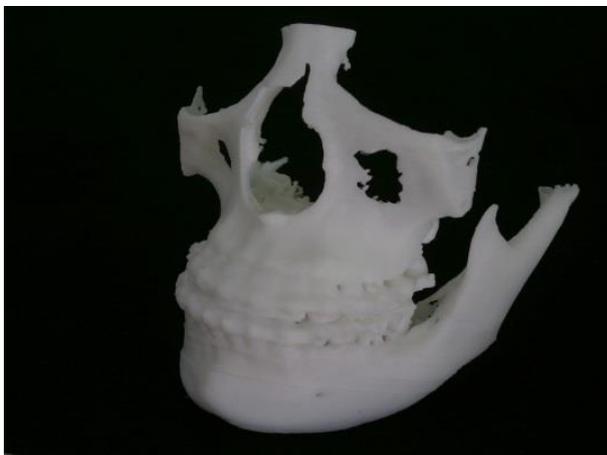


図1 UP Mini・UP Plus による造形例 (1) (提供: 株式会社オーピーティ)

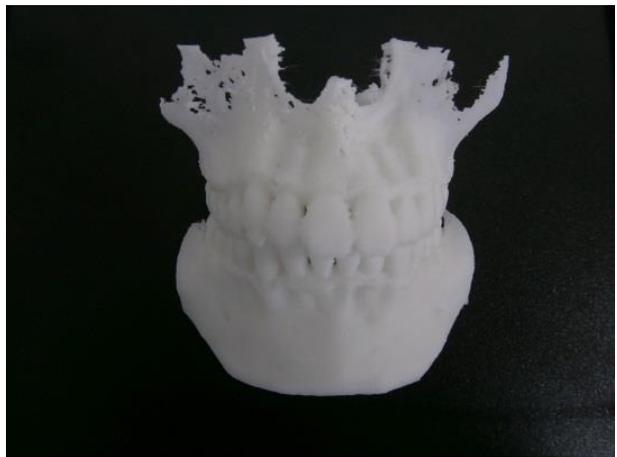
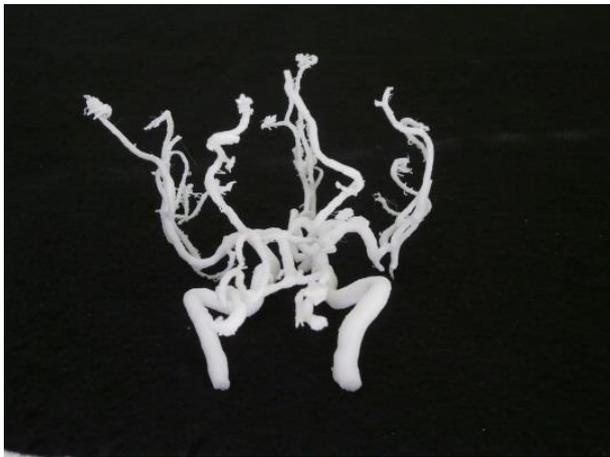


図2 UP Mini・UP Plus による造形例 (2) (提供：株式会社オーピーティ)



図3 SC00V0 (OpenCube 社)による造形例 (1)



図4 SC00V0 (OpenCube 社)による造形例 (2)